

平成19事業年度

決 算 報 告 書

自 : 平成19年 4月 1日

至 : 平成20年 3月31日

国立大学法人 静岡大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	9,982	9,982	0	
施設整備費補助金	359	359	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	72	125	53	※1
国立大学財務・経営センター施設費交付金	54	54	0	
自己収入	6,296	6,437	141	
授業料、入学料及び検定料収入	6,175	6,144	△31	※2
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	121	293	172	※3
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,172	2,116	944	※4
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	335	476	141	※5
計	18,270	19,549	1,279	
支出				
業務費	12,647	12,345	△302	
教育研究経費	12,647	12,345	△302	※6
診療経費	0	0	0	
一般管理費	3,966	3,698	△268	※7
施設整備費	413	413	0	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	72	125	53	※8
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,172	2,101	929	※9
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	18,270	18,682	412	
収入-支出	0	867	867	

注：百万円未満の端数については、四捨五入で表示してあります。

## ○予算と決算の差異について

- ※1 補助金等収入については、予算段階では見込んでいなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して53百万円多額となっています。
- ※2 授業料、入学料及び検定料収入については、入学志願者数の増(7百万円)となったものの、前受授業料の徴収額が減少したため、予算金額に比して31百万円少額となっています。
- ※3 雑収入については、科学研究費補助金間接経費受入額の増(128百万円)、特許実施料収入の増(13百万円)財産貸付料収入の増(8百万円)等により、予算金額に比して172百万円多額となっています。
- ※4 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では見込んでいなかった知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)等の受託研究、共同研究の獲得並びに、寄附金収入があったため、予算金額に比して944百万円多額となっています。  
なお、前年度からの繰越額のうちの支出予定額45百万円を予算金額に計上しています。
- ※5 目的積立金取崩については、計画の見直しにより、予算金額に比して141百万円多額となっています。
- ※6 教育研究経費については、自己収入の増(141百万円)、目的積立金執行額の増(119百万円)となったものの、任用計画見直しによる教員人件費の減(△432百万円)、退職手当の未使用(△59百万円)、計画の見直しによる物件費の減(△7百万円)等のため、予算金額に比して302百万円少額となっています。
- ※7 一般管理費については、任用計画見直しによる職員人件費の減(△137百万円)、退職手当の未使用(△53百万円)、計画の見直し、節減合理化による物件費の減(△47百万円)等のため、予算金額に比して268百万円少額となっています。
- ※8 ※1に示した理由により、予算金額に比して53百万円多額となっています。
- ※9 ※4に示した理由により、予算金額に比して929百万円多額となっています。